

# 令和元年8月における会員の財務状況等

日本商品委託者保護基金

## 1. 会員数の状況

会員数は26社。内訳は受託会員14社、取次会員12社となっている。

## 2. 委託者数等の状況

委託者数は延べ79,215人で前月から39人増加した一方、建玉委託者数は12,656人で前月から335人減少となった。また、役職員数は3,994人で前月から27人減少した。

## 3. 委託建玉及び預り証拠金の状況

委託建玉は570,064枚で前月から3,593枚増加し、預り証拠金も1,225億26百万円となり前月から6億73百万円増加した。なお、委託者に占める建玉委託者は16.0%となり前月から0.4ポイント減少した。

## 4. 純資産額の状況

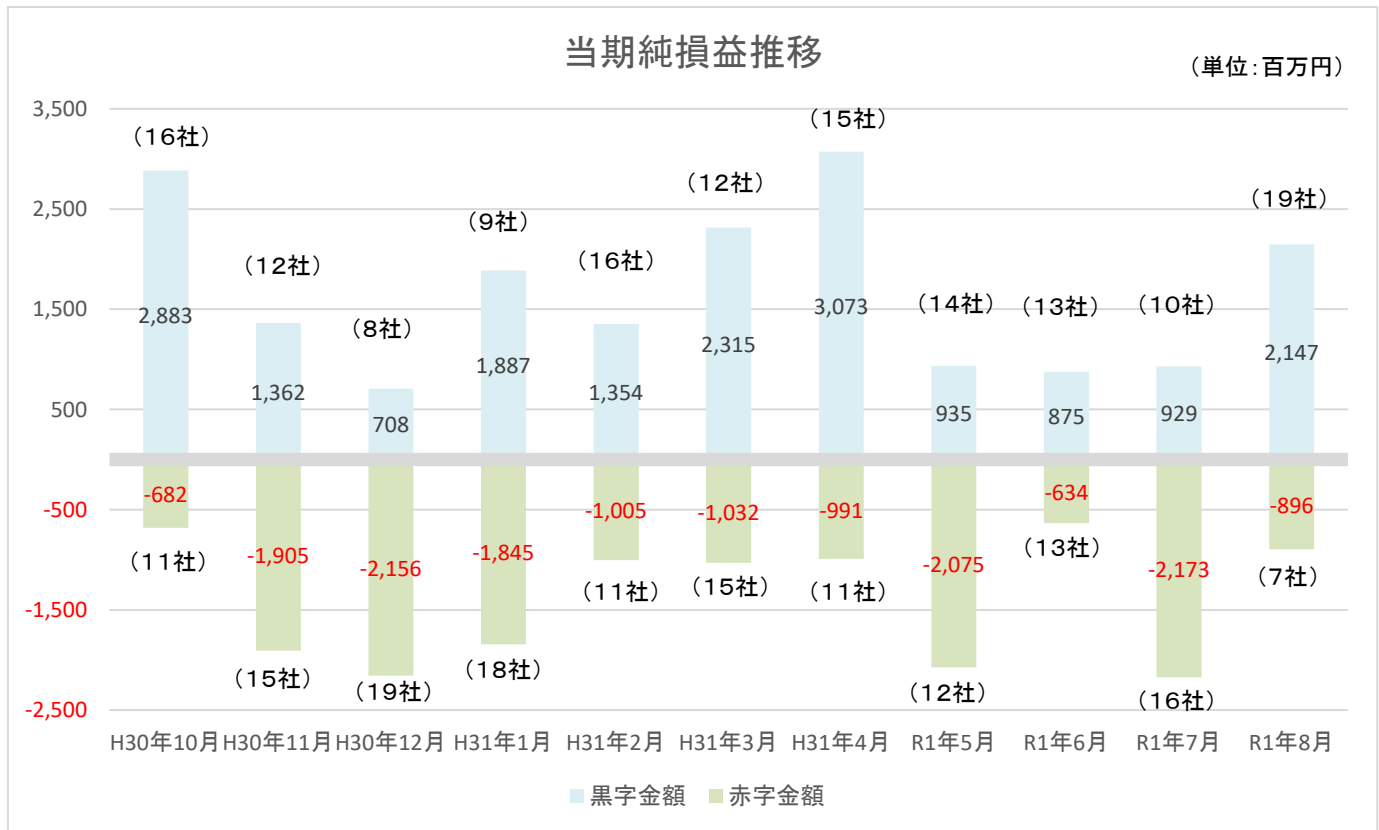
会員の純資産額は総額3,276億61百万円となり、前月から15億40百万円の増加となった。

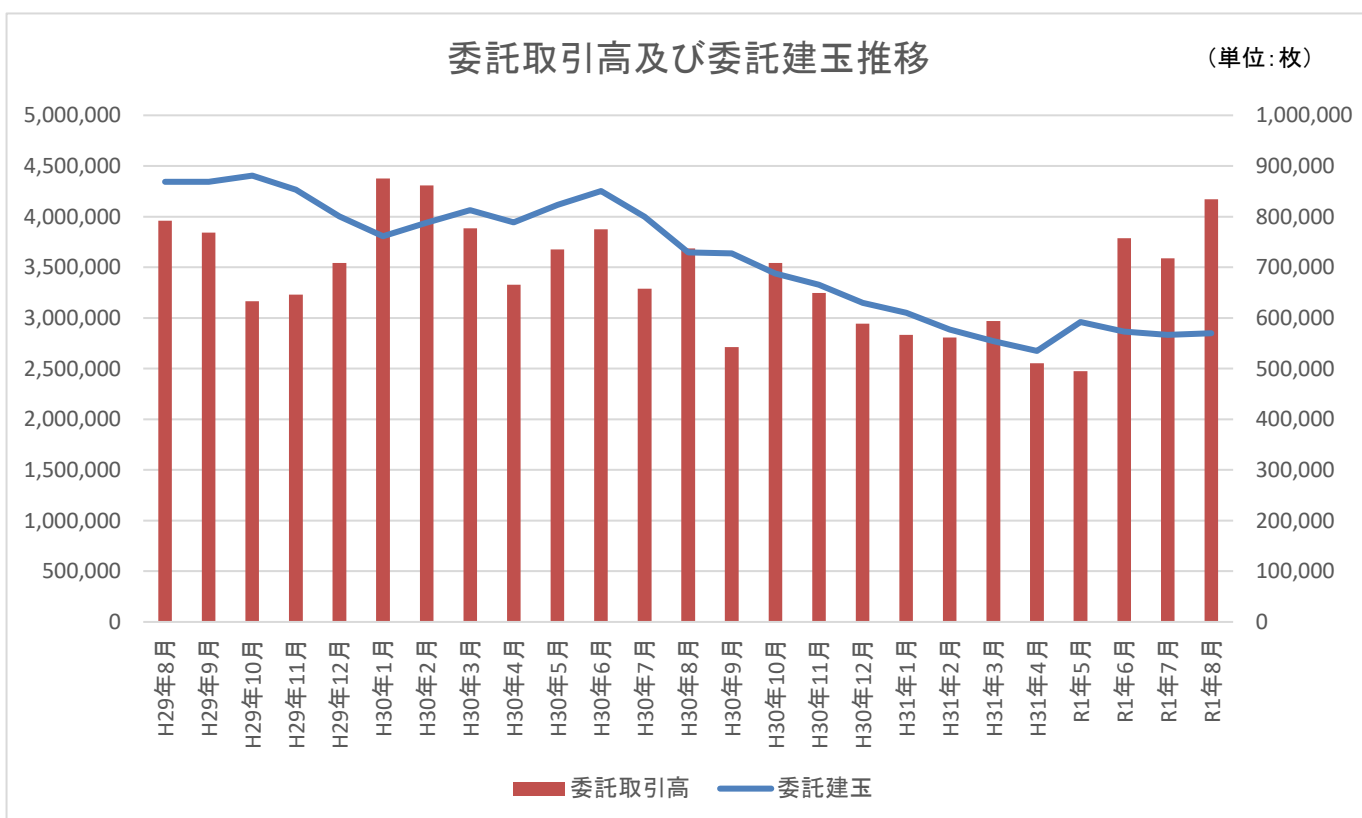
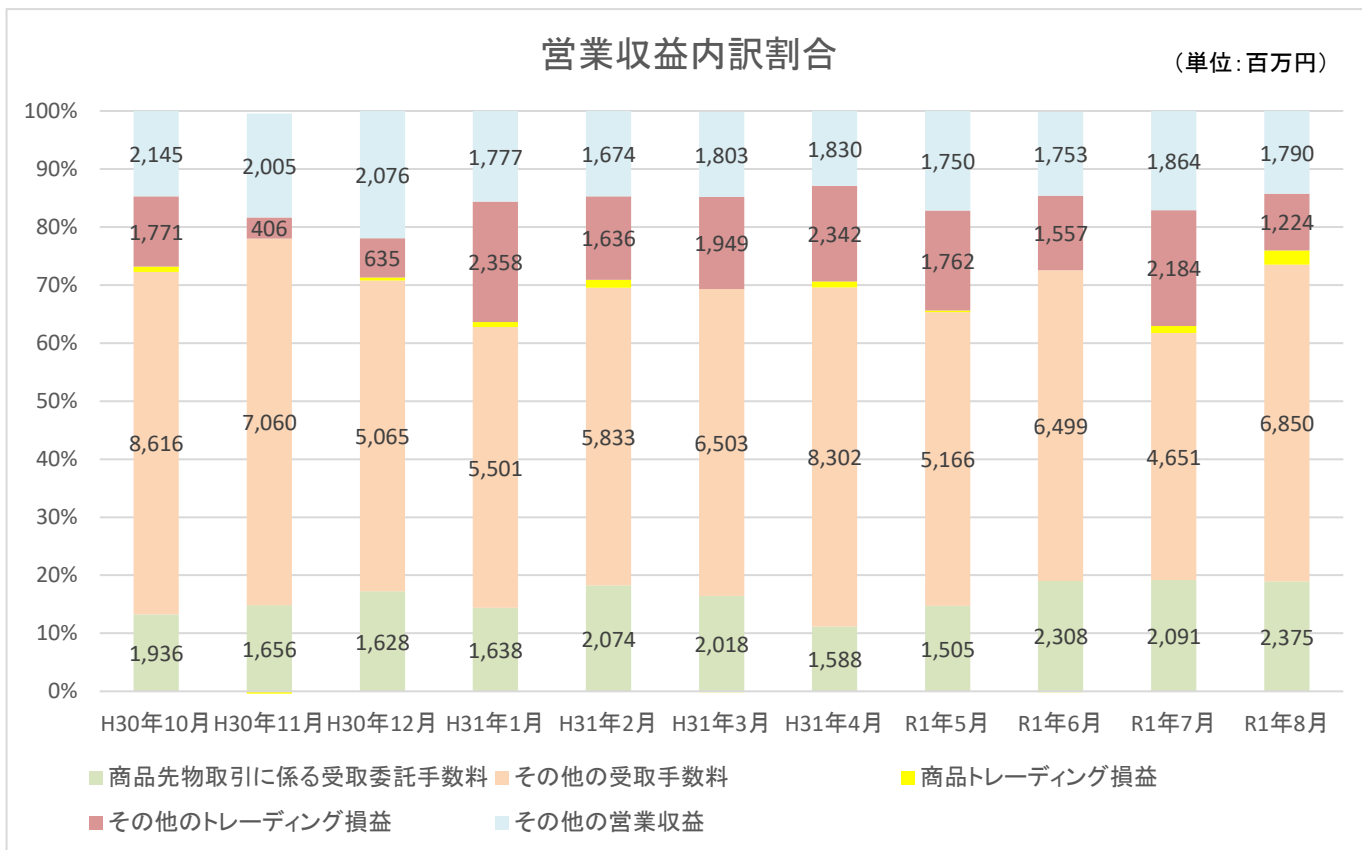
## 5. 損益状況

今月の当期純損益について、黒字の会社が19社、赤字の会社が7社となった。金相場が5,000円の大台を突破し5,200円台まで急伸したことで、委託取引高は平成30年2月以来1年6カ月ぶりに400万枚を回復したことから、商品先物取引に係る受取委託手数料は約23億円を計上し、また商品トレーディングも好調であった。この結果、黒字社数は前月の10社から9社増加した。

## 6. 取引高の状況

委託取引高は、前月比16.3%増(前年同月比13.2%増)の約417万枚となった。その要因は、白金標準取引(前月比10.7%減の約47万枚)、RSS3号(前月比11.6%減の約20万枚)及び新潟コシ(前月比12.2%減の約4.1万枚)が減少したものの、金標準取引(前月比25.3%増の約230万枚)、金ミニ取引(前月比51.6%増の約20万枚)及び東京ゴールドスポット100(前月比31.6%増の約36万枚)の増加が大きかったためである。





以上